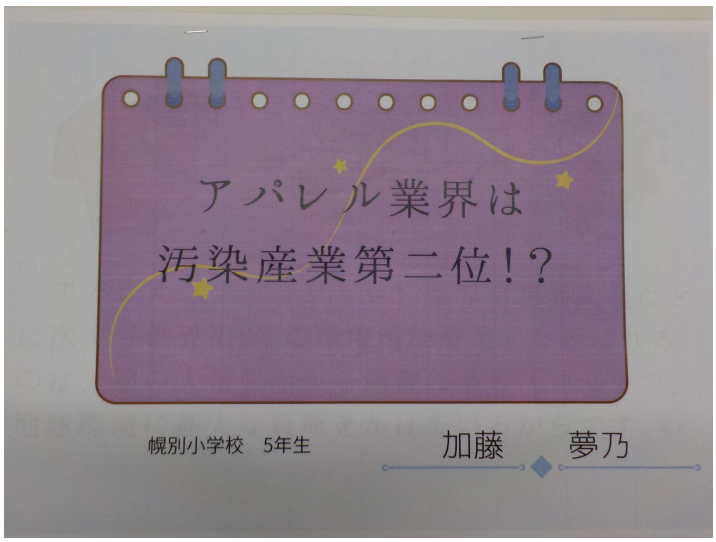
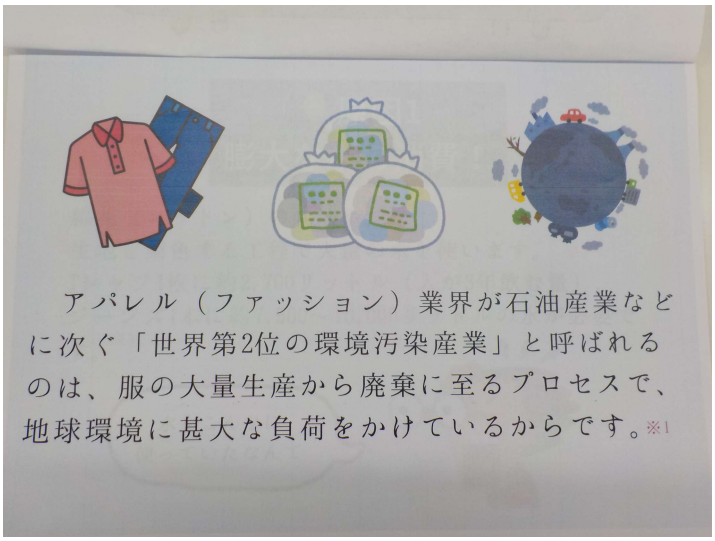
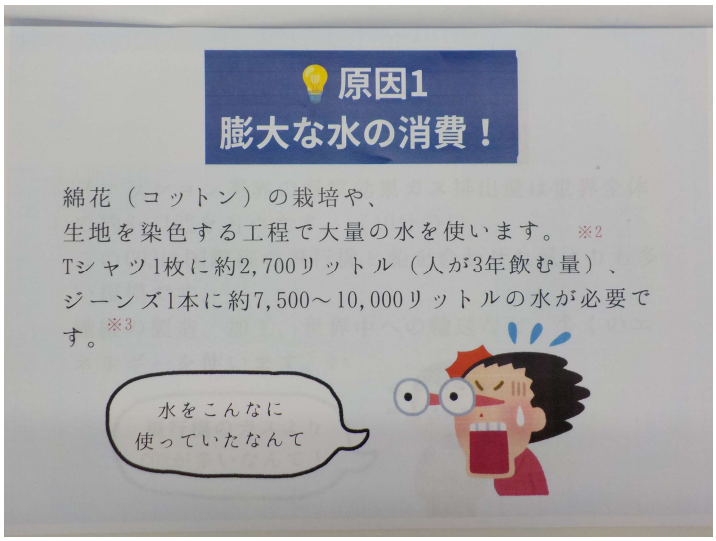
《金賞》：加藤　夢乃　様：小学校５年生

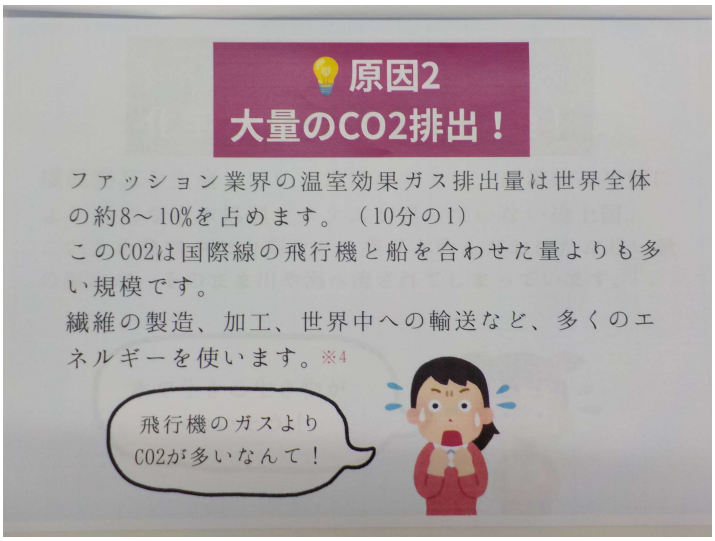
「アパレル業界は汚染産業第二位！？」
（リサイクルラグマット）

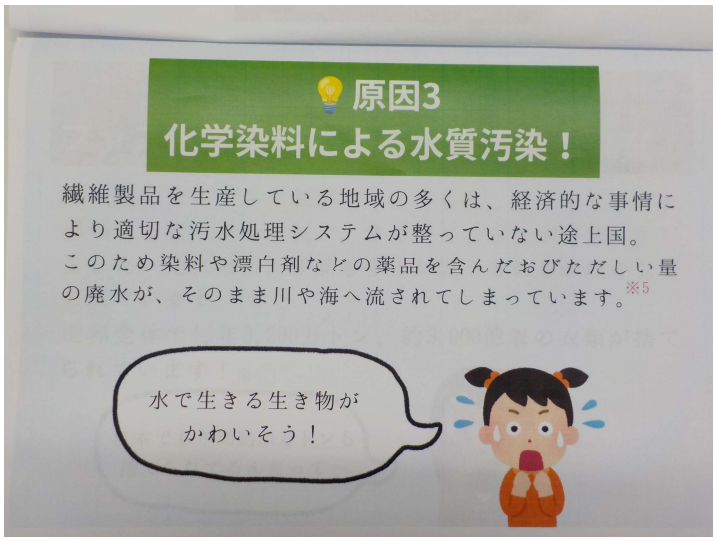






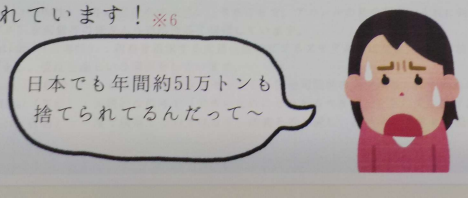






原因4
ファストファッションによる大量廃棄！

短い流行サイクルで服がすぐに作られ、安くてトレンド感のある服を次々に買い、すぐ捨てることが日常になりました。売れ残った新品も多くが燃やされるか埋め立てられています。
世界全体で毎年9,200万トン、約3,000億着の衣類が捨てられています！※6



未来を変える9つの「R」

ーアパレル業界の取り組みー

ナインアールは、この課題に向き合い、9つの「R」を指針にブランドを運営しています。

- Reduce（削減）：服を無駄に作らず、本当に必要な分だけを生産することでアパレル産業の最大の課題とも言える大量生産・大量廃棄のビジネスモデルから脱します。
- Reuse（再利用）：Reuseプロジェクトや蚤市といったイベントを通して、可能な限り廃棄される服を減らす活動をしています。
- Recycle（再資源化）：リサイクルコットンやリサイクルポリエステルを積極活用し、限られた資源を大切にしています。
- Refined（洗練）：洗練されたデザインで、トレンドに関係なく長く愛用していただけるような服を創っています。
- Real（透明性）：生産背景をオープンにすることで、アパレルの社会問題とそれに対するアプローチの”リアル”を消費者の皆さんへ透明性高く発信しています。
- Rational（合理性）：利益を追求する大量生産のビジネスモデルではなく、持続可能性という観点で合理的判断をし、受注生産という選択をしています。
- Reset（再構築）：これまでの常識をリセットし、持続可能性の高い産業となるための行動を選択します。
- Radical（革新）：先鋭的な思考で「未来のためにどうあるべきか」を常に問い続けます。
- React（行動）：一度で満足するのではなく、改善を繰り返し、持続的な変革を実現します。※7



私ができること

ーリサイクルー

サイズアウトしたり、着れなくなった服（リサイクルショップでも売れなさそうな）を紐になるように切り、ゴムマットの穴に通して、縛ることを繰り返してラグマットを作りました。

ラグマットは足ふきマットとしても使えるし、学校の椅子のクッションとしても使えます。
そうすることでまた活躍します。

考察

今回調べてわかったことは、流行りの服・安い服などを買いたくなる時があるけれど、それが地球の環境破壊の原因の一つとなっているということが衝撃でした。
地球の環境破壊は人間を含む全ての生き物の生活を奪ってしまいます。
そうなってからだと遅いので皆さんも自分の行動一つ一つを見直してみませんか？

参考資料

※1・4…「国際連合広報センター」
https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/32952/
※2…「GREENPEACE」
https://www.greenpeace.org/japan/news/fast-fashion-environmental-impact/
※3…「あわいひかり」
https://awaihikari.media/report/entry-188.html
※5…「PRISTINE」
https://pristine.jp/blogs/feature/howto_93?srsltid=AfmBOoqoZPWBAN7GH9ZpylDLZRXae15K4q8fvlE9sHsHKvH_WLveGpUQ
※6…「株式会社shoichi」
https://shoichi.co.jp/sustainable/column/1485/
※7…「株式会社メルシー」
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000159152.html

